

第73回結核予防会全国大会支部長会議  
2022年3月8日 リーガロイヤルホテル東京

## シンポジウム 10年後の健診を展望する

座長：総合健診推進センター 所長

宮崎 滋

シンポジスト：

岩手県支部 専務理事

武内 健一

日本CT検診学会 前理事長  
日立健康管理センタ センタ長

中川 徹

日本総合健診医学会 副理事長  
関東労災病院 臨床検査科・輸血部長

林 務

# シンポジウムのテーマ

- ▶これから10年で健診がどのように変わっていくか。
- ▶その中で結核予防会本支部はどのように健診事業を行うことが望ましいのか。
- ▶コロナ後を見据えつつ展望する。

# 各支部からのアンケート回答の要点

## 現状の問題点

### 受診者数減少

#### 1. コロナ関連

受診控え、三密対策

#### 2. 少子・高齢化

#### 3. 隔年検査

#### 4. 巡回健診から施設健診への移行

### 健診価格の低下

#### 1. 競合

#### 2. 医院等医療機関の健診への参入

## 今後の課題・方向性

#### 1. ICT、AIの導入、デジタル化

#### 2. がん検診の将来像

CT、内視鏡検査

#### 3. 施設、集団健診のあり方

#### 4. 健診対象者の絞り込み

#### 5. 保健指導の取り組み

## 本日の討議のポイント

- ▶ 結核予防会の検（健）診の原点  
ともいえる胸部検診の現状と展望
- ▶ これからの健診を展望する